

❖ マロニエの会会員の本が刊行！

徳重 節子

かわら版3月号の小林真理子さんの〈私の本棚〉にもあったように、今年90歳になられた三嶋愛子さんのフランス語での第2作目〈Le Goût de café au lait〉がHarmottan社から刊行されています。

下の写真は3月半ばに開催された本の見本市—Salon du Livre—と並行して雪が降る寒い中Harmottan社で行われた三嶋愛子さんの著者サイン会でのもの(中央が著者)。もう一冊の〈パリの春〉の著者、菅佳夫さん(写真右端)も当日の悪天候を押して行かれました。



菅さんは毎回かわら版に寄稿して下さったり、新年会でも司会進行係としてお馴染みの方です。

退職された後、ご友人、知人への消息替りにとパリ通信の名で月に一度の割合でメール送信を続けて来られているもの。この5月で151号にもなりました。そのご努力の結晶が、アマゾン社から出版されたものです。この後もパリの夏、秋、冬と出る予定との事。

ソー公園でのお花見が表紙の、ご自分で撮影された写真もたっぷり入った綺麗な本です。

三嶋さんの本も、菅さんの本も幾つかの所で教材に使われているとの事。快挙ですね！

